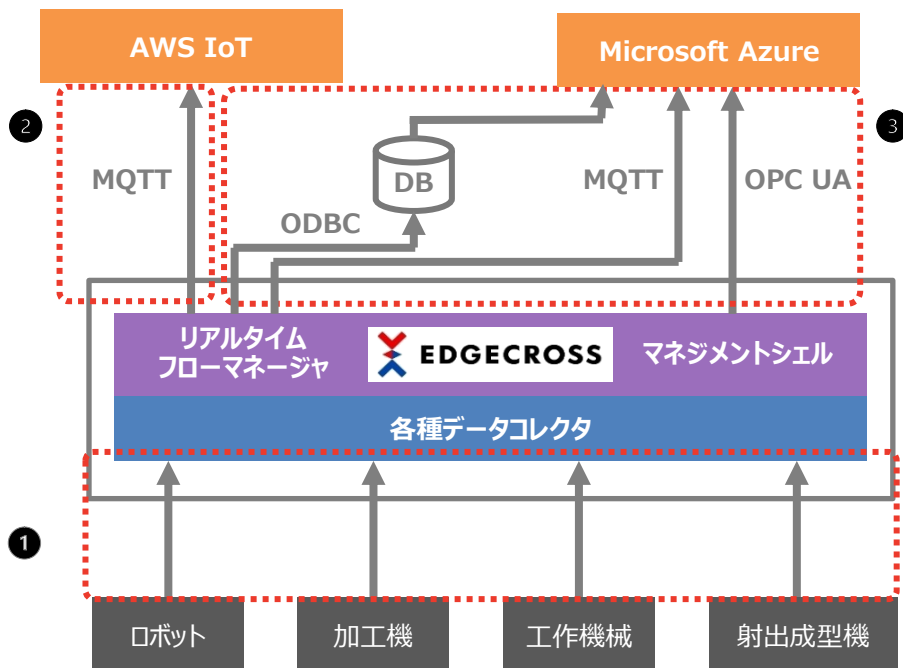


用途： クラウド利用

Point

- Edgexoss基本ソフトウェアを使用して、生産現場データを各種クラウドに連携。
- 下位のソフトウェアや機器のメーカーの違いを、Edgexoss基本ソフトウェアが吸収。
- 目的に合わせて、Edgexoss基本ソフトウェアから定周期データ、または現在値データを取得しクラウドで活用。

システム構成



- 1 各種データコレクタを使い、生産現場から生産データ、稼働データを収集する。
- 2 リアルタイムフローマネージャが、生産現場データをMQTTでAmazon Web Services (AWS IoT)に連携。
- 3 リアルタイムフローマネージャ、マネジメントシェルが、生産現場データをMQTT、DB、またはOPC UA通信でMicrosoft Azure連携。

■使用している認定ITシステム製品 (製品名のクリックで詳しい情報がご覧になれます)

- [Edgexoss & Microsoft IoT サービス連携 Microsoft Azure \(日本マイクロソフト\)](#)
- [EdgexossとAWSを利用した工場向けIoTプラットフォーム Amazon Web Services \(AWS IoT\)アマゾン ウェブ サービス ジャパン](#)